

岐阜都市計画道路変更理由書（岐阜県決定）

3・3・25号 美江寺小熊町線

1 これまでの経緯

都市計画道路3・3・25号 美江寺小熊町線（以下、「当路線」という。）は、昭和21年の戦災復興計画を機に、市街地の骨格を形成する道路として位置づけられ、戦災復興事業によって一部区間の整備が進められた。

その後、社会経済情勢の変化に対応した道路網を再構築するため、計画決定以後、長期にわたり工事が行われていない路線（区間）を対象に、計画の見直しが進められ、当路線については、道路機能の変化やまちづくりへの影響を検討した上で、平成22年度に、未整備区間の延長約200mについて計画の廃止が行われた。

現在は、岐阜市美江寺町2丁目を起点とし、小熊町1丁目を終点とする、延長約490mが都市計画決定されており、すべての区間で整備が完了している。

2 都市計画変更の必要性

岐阜市において、平成19年度より中心市街地活性化基本計画を策定し、その中で岐阜大学医学部等跡地周辺のにぎわい創出が位置づけられている。この計画に基づき、岐阜市において、「つかさのまち夢プロジェクト」が推進されており、第1期整備として平成27年7月に、市立図書館を中心とした複合施設「みんなの森ぎふメディアコスモス」や「みんなの広場カオカオ」がオープンしている。現在、第2期整備として、ぎふメディアコスモスと連携し、市民と行政の協働のまちづくりに取り組むための新たな拠点となる「岐阜市新庁舎」の建設が計画されている。

当路線は、「岐阜市新庁舎」の建設計画地の南側に位置し、市道司町3号線との交差点においては、一部を拡幅した計画とし、歩道や緑地帯として利用されている。岐阜市において、平成27年度に新庁舎の基本設計を行ったところ、岐大跡地の南側の民有地及び当路線の一部区域並びに市道司町3号線を含めた区域を新庁舎の建設地として一体的に活用することで、当路線に新庁舎の正面玄関が接続し市役所へのアクセスの向上が図れること、新庁舎を南側に寄せて配置することでみんなの広場カオカオの拡張ができ、より大きなにぎわいの創出拠点や防災広場として活用が可能なこと、ぎふメディアコスモスと新庁舎を含めた「つかさのまち」の一体的な景観形成、といった高い効果が見込まれることから、これらを取得し有効活用することを予定している。

こうしたことから、新庁舎建設計画との整合性を図るため、当路線の一部区域の変更を行うものである。